



水 泳 部

■ 1910年(明治43年)公認

部員数

83名



部長
長谷川 恵一
商学学術院
教授

今年の早慶対抗水上競技大会(早慶戦)は、競泳部門は男女ともに、水球部門は5年ぶりに、飛込部門では6年ぶりに、それぞれ勝利し完全優勝を果たすことができました。日本学生選手権では、競泳部門で男子総合が第7位、女子総合が第2位、水球部門では、男子は5位で、女子は3位、AS部門は、総合(学校対抗得点)1位、飛込部門は、飛板飛込7位、高飛込5位、学校対抗4位でした。世界選手権(シンガポール)は、現役学生を2人派遣し、競泳200平泳ぎで22位、ASチーム2位という結果を残しました。FISUワールドユニバーシティゲームズ(ドイツのラインルール)には、競泳に3名、水球に2名の代表選手を派遣しました。



主務
山口 遼大
スポーツ科学部
暁星

水球部の主務を経験し、早慶戦当番校の運営から、試合運営の過酷さを痛感しました。我々水球部が普段何気なく活動している裏には多くの努力が隠されていること、これに気がつくことが出来たことが主務を務めたことで得た最大の賜物です。

苦しいことも沢山ありましたが、尊敬している4年生が作りあげたチームを支え、運営に携わる主務を1年間大きな問題なく終えることが出来たことは様々な方の支えがあってこそです。

これからも、水球部、ひいてはスポーツ界より貢献して行けるよう邁進いたします。



水球女子部門主将
井上 舞
スポーツ科学部
鴨汗

水球部で競技に打ち込んだ4年間は、仲間の大変さを感じた日々でした。「学生主体」をモットーにチーム運営を行ってきました。練習内容や戦術などを自分自身で考えることは大変なことでした。時には意見がぶつかることもありましたが、しかし同じ目標を掲げ助け合うことで成長し乗り越えられたのも仲間がいてくれたおかげです。4年間一筋に闘ってきた同期、教え導いてくださった先輩方、どんな時も信じてきてくれた後輩達、チームの基盤を強固なものにしてくださった監督やコーチの方々。関わってくださった皆様には感謝の思いでいっぱいです。早稲田大学水球部に所属して良かったこと心から思います。4年間ありがとうございました。



競泳部門監督
藤井 拓郎

今年度水球部競泳部門は日本学生選手権で男子総合7位、女子総合2位という結果でした。また世界選手権日本代表選手を1名、WUG日本代表選手を3名代表輩出できました。強化は順調に進められましたが、1人あたり1大会で複数レース力を出し切るということができていないように感じました。速く泳げるようにしていくのはもちろんですが、今後はタフさを身につけていくことがチームの課題であると思います。部員不足は年々増えています。来年はもっと飛躍出来るよう個々の成長力でカバーしたいと思っています。



水球部門監督
醍醐 裕也

男子は学生リーグ6位、インカレベスト8と目標に届かない大会もありましたが5年ぶりに早慶戦優勝と日本選手権出場をすることが出来ました。インカレに間に合うベスト4進出をかけた対中央戦、残り30分で逆転されて惜しくもシード権奪還とはなりませんでしたが、目標まであと一歩のところまで近づきことが出来ました。

女子は学生リーグ3位、インカレ3位、日本選手権出場の結果となりました。日本選手権は初戦敗退となりましたが、強豪社会人チームのブルボンKZと一進一退の接戦となり、大会を大いに盛り上げました。なお、ユニバーシティゲームズに2名、アジア水球選手権に2名の女子部員が選出されました。



飛込部門監督
関根 英生

飛込み部門は3年生藤田優1名で2025年度シーズンを戦いました。3月の異ジャンピングカップ 兼 国際大会派遣選手権大会では高飛込みで自己BESTを更新して6位入賞。惜しくもユニバーシティゲームズへの選考にはもれませんがTOPアスリート資格を得て国内主要大会への出場権を獲得しました。また、日本選手権では初日の3Mシンクロナイズド飛板飛込みに佐々木康平選手(日体大卒)とのペアで出場し3位に入賞。日本学生選手権は早稲田魂を発揮して孤軍奮闘、飛板飛込みが7位、高飛込み5位(自己BEST更新)という成績を得ました。学校対抗得点も昨年度から順位を1つ上げて4位という結果を残しました。



主将
松田 藍青
スポーツ科学部
愛知

今年度競泳部門では日本学生選手権において男子総合5位、女子総合優勝を目標に日々練習に励んできました。仲間達と意見を出し合いながらチーム運営を行い、部員全員が過ごしやすい環境、実力上げやすい環境作りを行ってきました。また、創部120年を誇る水球部競泳部門での主将としてプライドを持って今まで以上に練習に励みました。結果、仲間達と協力して早慶戦の優勝や関東インカレ短水路男女総合優勝といった成績を取ることができました。ですが、目標であった日本学生選手権での目標には一歩及ばずの結果でした。しかし、この悔しさを糧として来年度以降も精進して参りますので、変わらぬご支援ご声援の程、よろしくお願致します。



水球男子部門主将
加納 風人
スポーツ科学部
四日市中央工業

ブルの塩素よりも濃い時間を過ごした四年間でした。朝練の賑わいも、試合前の緊張も、仲間と共に乗り越えたすべての瞬間が最高の思い出です。時にぶつかり合い、時に笑い合いながら、互いを高め合ってきました。勝つ喜びも、負ける悔しさも、仲間がいたからこそ意味のあるものになったと思います。水球部で掴んだ絆と努力を続ける力は、一生の財産です。最高の仲間たち、そして支えてくれたすべての方々に心から感謝します。ありがとう、水球部！



飛込部門主将
藤田 優
商学部
新潟

飛込み部門主将の藤田優です。3年連続飛込部門は1人だけで最年少しかも感じなくなっていました。今シーズンは早慶戦優勝から始まり、その勢いのまま日本選手権のシンクロ飛板飛び込みで3位入賞を果たし、日本学生選手権では高飛込5位でベストリット資格を得て国内主要大会への出場権を獲得しました。さらに、日本選手権では初日の3Mシンクロナイズド飛板飛込みに佐々木康平選手(日体大卒)とのペアで出場し3位に入賞。一つ一つの大会で自分の成長を実感でき、悔いなくシーズンを終えることができたと感じています。来年度も更なる高みを目指し、精進して参ります。



AS 部門監督
松本 奈々

今年度は新入生4名を迎え、部史上最大の9名体制で活動いたしました。昨年度の日本学生選手権での準優勝という悔しさを糧に、今年度は「総合優勝」を目標に掲げ、演技構成や衣装を刷新、OBOG会の皆様のご支援により、音響機器の新調や指導者の招聘などにも着手しました。その結果、チーム優勝、ソロ2位、デュエット3位と全種目で入賞を果たし、総合優勝を達成いたしました。また、2年生の内田が世界選手権でチーム2位入賞に貢献するなど、個人の活躍も光りました。来年度も日本学生選手権での連覇を目指し、部員一同、より一層の精進を重ねてまいります。



AS 部門主将
和田 彩未
スポーツ科学部
上田西

AS部門での活動は、私に大きな成長をもたらしてくれました。達成感や悔しさを味わった日。全ての経験が目標に挑戦し続ける力を育んでくれたと思います。AS部門は部員が少なく、私ひとりで行動していた時間もありました。しかし、多くの後輩が入部してくれたことで、現在は9名で活動できるまになりました。今年は、チームマネジメントに注力しました。ひとつの演技を創り上げるこの競技では、全員が同じ目標に向かって取り組むことが不可欠です。その過程で、主将としての責任と喜びを深く実感しました。日々支えてくださった部長をはじめ、監督、コーチ、そして仲間の皆さんに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利○、引き分け△、敗戦●)

【競泳部門】

◇第101回日本学生選手権水泳競技大会 (9月4日~7日)

- 男子 7位
- 女子 2位
- 男子200Ba ▷飯田 光達(スポ3) 4位 1:58.56
- ▷村上 汰晟(スポ4) 8位 1:59.75
- 女子100Fr ▷船越 彩椰(スポ4) 4位 55.53
- 男子100Fr ▷原 空輝(スポ4) 4位 49.16
- 女子800Fr ▷松崎 りん(人科3) 2位 8:36.30
- ▷青木 虹光(スポ2) 3位 8:37.42
- 女子200Fr ▷竹澤 瑠珂(スポ1) 1位 1:58.36
- 男子200Fr ▷原 空輝(スポ4) 3位 1:48.09
- 女子100Br ▷加藤 心富(スポ2) 1位 1:06.58
- 男子100Br ▷松田 藍青(スポ4) 3位 1:00.45
- 女子4×100Fr ▷内田、船越、青木、竹澤 1位 3:42.56
- 男子4×100FR ▷松井、原、新開、村上稜 2位 3:16.95
- 女子100Ba ▷亀井 涼子(スポ4) 7位 1:01.71
- 男子100Ba ▷村上 汰晟(スポ4) 6位 54.99
- 女子400Fr ▷松崎 りん(人科3) 2位 4:09.63
- ▷竹澤 瑠珂(スポ1) 4位 4:09.91
- ▷青木 虹光(スポ2) 6位 4:12.03
- 女子4×100MR ▷亀井、加藤、水野、船越 2位 4:04.06
- 男子4×100MR ▷村上汰、松田、新開、原 5位 3:36.34
- 女子50Fr ▷船越 彩椰(スポ4) 5位 25.70
- ▷内田 さくら(スポ3) 8位 25.86
- 男子100Fly ▷山口 遼大(スポ3) 5位 52.89
- ▷新開 誠也(スポ3) 6位 52.91
- 女子200Br ▷加藤 心富(スポ2) 2位 2:24.94
- 女子4×200FR ▷松崎、青木、船越、竹澤 1位 8:00.21
- 男子4×200FR ▷原、林、新開、増田 7位 7:21.67

【水球部門 男子】

◇第101回日本選手権水泳競技大会 水球競技 最終予選会 (5月25日~26日)

- 第5位
- ▷深水区(○13-3)
- ▷AIDEN (●9-19)
- ▷山形SHARKS (○10-8)
- ◇第101回日本選手権水泳競技大会 水球競技 (6月6日)
- ベスト8
- ▷日体大(●6-21)
- ◇第101回 日本学生選手権水泳競技大会 (8月29日~31日)
- ベスト8
- ▷成蹊大学(○19-14)

▷中央大学(●14-15)

【水球部門 女子】

◇第101回日本選手権水泳競技大会 水球競技 最終予選会 (5月26日~26日)

- 第2位
- ▷富士スイングバレス(○13-3)
- ▷ブルボンウォーターボククラブ柏崎(○10-8)
- ▷Violet Stars (●6-16)
- ◇第101回日本選手権水泳競技大会 水球競技 (6月6日)
- ベスト8
- ▷ブルボンウォーターボククラブ柏崎(●17-19)
- ◇第101回 日本学生選手権水泳競技大会 (8月29日~31日)
- 第3位
- ▷東京女子体育大学(○21-8)
- ▷日本体育大学(●11-16)
- ▷順天堂大学(○20-9)

【飛込球部門】

◇第101回日本学生選手権水泳競技大会 飛込競技 (9月6日~7日)

- 藤田 優
- ▷男子高飛込 5位
- ▷男子3m飛板飛込 7位
- ▷学校対抗 4位

【AS部門】

◇第101回日本学生選手権水泳競技大会 アーティスティックスミング競技 (8月31日)

- 総合得点 1位
- チーム 1位
- ▷金光 碧音
- ソロ 2位
- ▷内田 桜子
- ソロ 4位
- ▷和田 彩未
- ソロ 12位
- ▷横山 正
- ソロ 16位
- ▷金光 碧音、畑中 愛梨
- デュエット 3位
- ▷横山 正、和田 彩未
- デュエット 10位